

出雲北陵月報

No. 380

平成29年4月28日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

第22回中学校 第109回高等学校 入学式挙行

春の息吹を身体一杯に感じられる4月9日、平成29年度出雲北陵



学校長式辞

入学式、中学校・高等学校37名、高等専門学校18名、合わせて211名の新生を迎えた。式典には、本校PTA会長井上克夫様をはじめ、多数のご来賓の方



中学校新入生代表
三宅輝成君



高等学校新入生代表
白根美優さん

々にご臨席を賜り、新入生の門出を祝福していただいた。水谷厚志中学校長からは入学許可の後、「学ぶことの意義をしっかりと自覚し、大きな志を持って本校で精一杯勉学に励んで欲しい。また良き師、良き友と巡り合いたい。人生を実り多いものにして欲しい。」と式辞が述べられた。水谷勲理事長からは、「本校の校歌に『青春の夢もはるかに』とあるように、夢を追いながら学園生活を送って欲しい。」とお祝いの言葉が送られた。最後に新入生を代表し、三宅輝成君（塩冶小）と白根美優さん（平田中）が入学の決意を力強く宣誓した。

入学を祝して



高校教頭
森本 恭一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校は、「柔しく剛く」の校訓を百年以上受け継ぐ歴史と伝統のある学校です。新入生の皆さんと新たな歴史の一ページを共に作っていきけることを大変嬉しく思います。「千里の道も一歩から」ということわざがあります。千里という遠い道のりも初めの一歩から始まることから、身近なところから着実に努力を重ねれば、大きな目標も達成できるという意味で使われています。新たな一歩を踏み出された新入生の皆さんは、まず一日一日が充実したものになるよう努力してください。そうすれば、きっと学園生活での目標は達成され、その先の夢にも近づけるはずですよ。もし心が折れそうになっても、皆さんの周りには仲間や皆さんをサポートする教職員がいます。チーム北陵として、共に支え合いながら、輝かしい歴史を紡いでいきましょう。

学園監事の交代

平成18年から本学園の監事をお務めいただいた後藤英夫様が、3月31日をもってご勇退され、新たに4月1日付けで、須山泰則様（須山木材（株）会長）が就任されました。

ご寄付のお礼 ①

ご勇退にあたり後藤英夫様より多額の「ご寄付」を頂戴しました。厚くお礼申し上げます。

黎明ホール竣工

3月末、待望の黎明ホール（多目的音楽ホール）が無事完成しました。

このホールは、出雲市民会館のステージとほぼ同じ面積を有し、楽器庫も備えられています。玄関を入ると、正面には「パルナッソス」の壁画が掲げられており、厳肅な中にも芸術の香りが醸し出されています。

今後、主に吹奏楽部の日々の練習場所として活用して行く予定ですが、各種講演会や学年集会など多目的に利用できるよう、空調設備はもとより、電動スクリーン、カメラ、プロジェクターをはじめ音響設備も充実しています。また2階にはおよそ80人を収容できる客席も設置されています。

このホールの完成により、吹奏楽部の更なる活躍が期待されます。



ご寄付のお礼 ②

黎明ホールの完成を祝し、関係の皆様から左記のとおりご寄付を頂戴しました。厚くお礼を申し上げます。

記

- ・(有)池田造園様からツバキ(巨)一本
- ・岩盛工業(株)・榊ノクダ様から譜面台100台
- ・(株)馬庭建築設計事務所様から指揮台

なぎなた部

輝く2年連続個人全国制覇
団体でも5位入賞と健闘

第12回全国高等学校なぎなた選抜大会

時 3月19・20日
於 伊丹スポーツセンター

（個人競技の部）

石飛涼子(3-2湖陵)

青戸真実(25-1松)

原出穂(25-北陵)

（団体試合の部）

準々決勝

本校 0-1

○大会総評

高田に続

き、今年

は個人で

石飛が優

勝し、本

校選手が

連覇を果

たした。

全国選抜

での個人

優勝は4

人目とな

った。ま

た青戸も

5位入賞

を果たし

た他、団

体でも5

年ぶりの

5位入賞

とよく健

闘した。今

後も『日本

一』を目指

し稽古に励

みたいと思

う。たくさ

んの応援有

難うござい

(顧問 井上美代)



高校団体出場メンバー
(左から、原、石飛、青戸)



石飛涼子選手

一年生担任挨拶

中学校



中学校一年一組担任
中川 佳治

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。さあ、新しいステージで
何をしましょうか。皆さんは目的を持
て、この出雲北陵中学校に入学して
きたはずですよ。自分で決めたことを途
中で投げ出すことなく、最後までやり
通してもらいたいと強く願っています。
緑豊かなこの学園で、充実した学校
生活を送れるように、私達教職員は全
力で皆さんを応援して行きます。



中学校一年二組担任
妹尾 一希

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。中学校の3年間は、身
も心も大きく成長する大切な時期で
す。そんな大切な時期を共に過ごすこ
とに対して、責任と嬉しさを感じてい
ます。さて、皆さんはこれからの3年
間をどのように過ごすか決めていま
すか。人それぞれ想いはあると思いま
す。何に打ち込んでも良いと思いま
す。後悔をせず、失敗しても諦めない
で、常に前に進むとうとする意志を忘
れないでください。応援しています。

高等学校



一年一組担任
篠原 勝利

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。新たな気持ちでのスタート
となります。今の気持ちを忘れること
なく今後生活して欲しいと思います。
私自身も皆さんを全力でサポートしま
す。よろしくお願ひします。



一年二組担任
井上 美代

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。これから始まる高校生活
に期待と不安で一杯のことと思います。
この3年間で目標をしっかりと持ち、自
分で掴み取れるよう頑張ってください
と思います。その頑張りの支えとなれる
よう私も努力していきたいと思いま
す。皆さんと一緒に日々勉強し、共に成長
できたらと思います。



一年三組担任
佐々木雄志

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。若さ溢れる皆さんと新し
いスタートを迎えられたことを大変
嬉しく思います。これからの高校生活
は進路決定、自己形成の上でも非常に
大切な時期となります。何事にも積極
的にチャレンジし、自分を磨いてくれ
ることを期待しています。皆さんの成
長を楽しみにし、精一杯応援させてい
たできます。



一年四組担任
別所美喜子

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。入学式の呼名に大きな声
で返事をしてくれた皆さんに大変感激
しました。不安をもちながらも夢と希
望で一杯の皆さんに全力で応えたいと
思いました。学生の自分は勉強ですが
部活動に励んだり、趣味の幅を広げ
たり、友人との交流も大切にしてくだ
さい。自分にしかできない高校生活を送
りましょう。



一年五組担任
遠藤 圭晃

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。入学後すでに目標に向か
って自ら進んでいる人もいれば、まだ
の人もいると思います。しかし焦らな
くても大丈夫です。なぜなら、皆さん
には一緒に悩んでいける仲間がいます
仲間を大切に、日々研鑽をしてくだ
さい。



一年六組担任
石倉 正

最後に私から皆さんに願ひです。
「手を抜いていいものはありません。
何事にも全力でやりましょう！」
ご入学おめでとうございます。伝統
ある芸術コースへようこそ。皆さんを
心から歓迎します。
皆さんはこれから始まる高校生活に
大きな希望や夢を抱いていることでし
ょう。新しい環境、新しい出会い、そ
して新しい自分。今の新鮮な気持ちを
是非とも3年間忘れず、切磋琢磨して
充実した高校生活を過ごしてください。
私も担任として、皆さんを精一杯サ
ポートしていきたいと思ひます。

なぎなた部

中・高とも団体での活躍光る
第34回若獅子旗なぎなた大会

於時 3月26日
福岡市九電記念体育館

高校 初優勝
〈団体高校生〉
決勝 本校 代0-0 琴平高校(香川)
中学 準優勝
〈団体中学生〉
決勝 本校 0-0代 西原東中(沖縄)

〈個人中学生の部〉
片岡まりも(中1) 4回戦敗退
森本あか音(中3) 3回戦敗退
原 出穂(25歳) 2回戦敗退
〈演技中学生の部〉
片岡・森本 組 1回戦敗退
〈演技高校生〉
石飛・高田 組 2回戦敗退
青戸・原 組 2回戦敗退
○大会総評
後輩達が先輩の背中を追い、中高ともに最高のチームワークで挑むことができたのが今回の結果に繋がったと思う。今回の結果を自信とし、今年度も新たな気持ちで稽古に励みたいと思う。



団体中学生の部

中学卓球部

第18回全国中学校選抜卓球大会

於時 3月26・27日
山形総合運動公園体育館

昨年に続き全国ベスト8

〈予選リーグ〉
本校 4-1-1 土々呂(宮崎)
本校 4-1-1 松戸第六(千葉)
〈決勝トーナメント〉
1回戦 本校 3-1-1 長森(岐阜)
準々決勝 本校 1-3 中間東(福岡)

○大会総評
目標としていたメダル獲得に至らなかったものの、随所でいいプレーが見られた。夏の全国大会で雪辱を果たしたい。



(顧問 相場翔太)

H28年度 クラスコンサート

於時 3月12日
北陵ホール

本年度も、恒例となった音楽コースによるクラスコンサートを開催した。音楽コース1・2年生が1年間の学習の成果を披露した。それぞれが自信に満ちた個性豊かな演奏を披露し、今後の活躍が期待できるコンサートとなった。

第15回進級展

於時 3月18・19日
出雲文化伝承館・縁結び交流館

美術部
進級にあたり、美術・CGデザインコース及び美術部による美術展を毎年開催しているが、本年は初めて写真部との合同展を行った。お互いの作品が引き立てあい華やかな展示会となり、来場者の方にも好評を得ることができた。



(顧問 石倉 正)

写真部

今年度の「進級展」に初めて写真部も参加させていた。全国高総文祭出品作品や、県高校写真展で上位入賞した作品をはじめ、約20点を展示させていただいた。本校写真部の挑戦はまだ始まったばかりである。今後も部員一同、明るく楽しく活動していきたい。

(顧問 村上 学)

新任紹介

事務長



板垣 信介

ご縁あって、この4月から事務部事務長として着任しました。長く自治体等での仕事をしてきましたが、教育現場で働かれる教員の皆様と一緒に仕事ができるのは初めての体験です。何事にも興味を持って取り組みたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

中学副校長



高橋 豊

この度、中学副校長として着任しました。高橋豊と申します。伝統と特色のある出雲北陵で今後頑張れることに、心がわくわくしています。私は、今まで38年間主に公立の中学校に勤務してきました。振り返ると、喜怒哀楽に溢れていたように思います。その中でも、苦難の場を踏ん張り、チャンスに変えられる子ども達を育てていきたいと思つていきます。

常勤講師



八木世津子

今年3月に大学院を修了し、4月に東京から出雲に参りました。出雲の気候や人々の優しさに心奪われています。まだまだ未熟な若輩者ですが、自らが培ってきたものを生かして、皆さんの成長を支えることができれば幸いです。よろしくお願ひいたします。



田部 温子

本年度から本校で勤めることになりました。

平成29年度 学級担任

学年	主任	担任等		学級												
		1	2	1普通	2普通	3普通	4普通	5特進	6芸術(音楽)							
中1	飛	正担	中川	正担	妹尾	副担	飛石	正担	黒崎	副担	篠原	井上	佐々木	別所	遠藤	石倉
		副担	飛石	正担	相場	副担	春日	黒崎	黒崎	尾添	原田	春日	黒崎	勝部	黒崎	尾添
中2	石	正担	鈴木	正担	相場	副担	手銭	正担	大本	副担	椿	畑	村上	西村	岩成	多々納
		副担	泉	正担	手銭	副担	大本	大本	伊藤	伊藤	田邊	石橋	伊藤	伊藤	田邊	石橋
中3	飯塚	正担	八木	正担	飯塚	副担	陶山	正担	松井	副担	酒井	福間	柳樂	境	竹内	飯塚
		副担	八木	副担	飯塚	副担	陶山	副担	松井	副担	酒井	福間	柳樂	境	竹内	飯塚

養護助教諭



正木 花奈

本校で勤めさせていただくことになりました。正木です。母校に教員として戻っています。先生方と共に、皆さんの充実した学校生活を全力でサポートできるように頑張っていきます。よろしくお願ひします。

作品と研究

「出雲北陵中学校に入学して」

三宅 輝也(中2)

僕が北陵中で頑張りたいことは、野球と勉強です。なぜかというところ、野球では少し早くレギュラーをとり、試合に出て活躍をしたいからです。勉強では、僕の将来の夢である「医者」に向かって頑張ろうと思つたからです。この二つの目標と夢を実現させるために、努力を惜しまず、精一杯頑張つていこうと思つています。

僕が北陵中学校に入学してから思つたことは、一人ひとりが明るく、いつも朝、教室に入るとみんなが「おはよう」と声をかけてくれます。みんなから挨拶をされることも気持ち良くあります。このような学校に入学することができるともううれしく思います。僕が北陵中学校に入学した理由は、兄が楽しそうに学校生活を送っている姿を見たからです。その兄の姿を見て、僕もこの学校なら野球も勉強も全力でできると思い、北陵中学校に入学しました。

「出雲北陵高校に入学して」

森脇水都士(中4)

私は、岡山県の中学校を卒業して、親の仕事の関係で出雲北陵高

校に入学することになりました。友達がゼロの状態だったけれど、今はクラスにも慣れ、友達もできました。高校に入学して改めて感じたことは、中学とは違い義務教育ではないということです。勉強をする気がない人は来なくてもよい場所です。しかし、やる気のある人は先生方が優しく手厚く指導してくれる場所でもあります。これが中学との大きな違いだと思つています。

高校生になった私達は一人ひとりが責任感をもたなければいけません。出雲北陵高校のブランドの制服を着ているという自覚をもち北陵高校の名に恥じない、行動・や身だしなみをしっかりしていきたいです。私は大学に行くという目標をもっています。北陵高校での3年間を通して、勉強だけでなく、礼法を学び、人間性を磨いて進んでいくように頑張りたいと思つています。それには日々の積み重ねが大事です。だから、明日からではなく今日、今この瞬間から頑張つていきたいです。

土井 神奈(中5)

進路を決めるとき、私には将来の夢がありませんでした。でもやりたいことは目の前にありました。中学校で吹奏楽を始めて3年生の夏、出雲北陵高校の体験入部に参加してから、この高校で吹奏楽がやりたいと考えるようになり、入学を決めました。

今はまだ、将来就きたい職業は決まっていませんが、見つかったときに何にでもなれるように勉強と力を入れていくつもりです。部活動と両立しながら、授業や短時

間の自主学習で集中して取り組み、学習内容が効率的に頭に入るように心がけたいと思います。

また、生活面では、できるだけたくさん経験をして、経験値を上げていきたいです。そして、自分が体験して得るものだけでなく、色々な方々のお話をよく聞き、行動や態度を観察して、周りの人からも多くのことを吸収したいと考えています。そのうえで、なりたてたい自分を見つけ、それに向かって努力をしていくつもりです。

更に、部活動では厳しい世界だと感じたとしても、応援してくれたい両親や励ましてくれた友人、相談に乗ってくれた先生方に、出雲北陵高校に入つて吹奏楽を頑張つていけるな、良かったなと思つてもらえるように、自分の感性に自信を持ち、自分を支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れずに、取り組んでいこうと考えています。

藤山 沙希(中6)

私が出雲北陵高校に入つた理由は二つあります。一つは吹奏楽部に入るため、もう一つは音楽ができる環境が整っている中で自分の技術を上げるためです。

私は中学時代、吹奏楽部に所属しフルートをしていました。そのため全国の中でもレベルの高い出雲北陵高校の吹奏楽部に入り、吹奏楽をやりたいと思いました。また、音楽コースに入り、自分のフルートの技術をもっと上げたいとも思いました。

これから3年間、つらいことや悲しいことがあるかもしれませんが、しかし、そういう時こそポジテイ

今月の1枚

「僕の世界」

手島

由梨(中3)

「練習は裏切らない」という言葉をつらい時には思い出し頑張つていこうと考えています。そして部活動面だけではなく、普段の学校生活も「柔しく剛く」の校訓をしっかりと守り、努力していきたいと思つています。

